

迎春



天草のさらなる 発展を目ざして

天草市長
安田 公寛

新年おめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、平成18年3月27日に天草市が誕生して、早いもので4度目の新年を迎えました。「天草の島としてのエネルギーを信じよう。島として、一つの塊にろう」と、硬く手を握り合った合併調印式を思いながら、私は、「日本の宝島天草の創造」の基本理念のもと、新市建設に全力で取り組んでまいりました。そして、この4年間に、まちづくり協

議会や地区振興会で、特色ある活動が展開されていることを、大変心強く感じています。また、経済情勢が依然として大変厳しい中、昨年は、倉岳の棚底城跡の国史跡指定や御所浦のジオパーク認定など明るい話題があり、さらに今年は、天草キリシタン館が、オープンします。私は、これらの取り組みを、地場産業の振興や雇用対策につながる施策として、推進していかなければならないと考えています。

昨年、およそ半世紀ぶりに政権が交代しました。政策の大きな変化が予測されるなか、市民生活に混乱を招くことがないように、地方行政の持続性の大切さを、地方の声としてしっかりと伝えて行く必要があると強く思っています。

天草市としての一体感を醸成し、「日本の宝島」の実現に向け、さらに全力を傾注してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、新年が、皆様にとりまして幸多い年となりますようご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

新たなスタートに 向けて

天草市議会議長
濱 廣昭

明けましておめでとうございます。

平成22年の輝かしい新春を迎えるにあたり、市議会を代表し、謹んでごあいさつを申し上げますとともに、平素から深いご理解と温かいご支援を賜りましたことに、心からお礼を申し上げます。

さて、わが国では、一昨年の世界金融危機に端を発した景気低迷から、今なお抜け出せない状況が続いており、昨年、約半世紀ぶりで政権交代が現実のものとなった現在、景気回復に向け、多様な

施策が模索されています。

天草市においても、持続的な物価下落が続く中、雇用状況は改善を見せず、また、急激な人口減少や少子高齢化が顕著になるなど、多様な難題が山積しております。今後の国の動向を迅速的確に捉え、まずは市基幹産業である第一次産業の振興を推進し、あわせて、さらなる市財政の健全化や効率的な行政運営に努め、来る地域主権時代に向け、行政と市民との協働によるまちづくりを推進していかなければなりません。

新市誕生後、私たち市議会も、市民の皆様の本心に温かいご理解ご支援により、多くの難題を解消すべく論議を重ね、行政機関とともに努力を傾注してまいりましたが、残すところ3カ月をもって改選期を迎えることとなります。

天草市のさらなる発展のため、議会活動を誠心誠意、全力を尽くす覚悟でございますので、今後ともさらなるご理解とご支援ご協力のほどをお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

—— 新和町・大多尾小峰海岸線からの眺望 (12月4日撮影) ——

市民の皆様
あけまして
おめでとうございます



天草市役所
市長 安田 公寛
副市長 古田 勝人
天草市議会
議長 濱 廣昭
副議長 野嶋 健一

議員
池田 次人
北野 鋼一
藤崎 正博
濱崎 昭臣
江浦 政巳
吉川 徳澄
本田 武志
大塚 基生
平石 水穂
宮下 重康
楠本 千秋
中村 五木
平山 泰司
脇島 義純
池田 裕之
松江 雅輝
田中 茂
赤木 武男
鎗光 秀孝
中村 三千人
船辺 修
蓮池 良正
若山 敬介
勝木 幸生
宮下 幸一郎
中尾 友二
古賀 源一郎
浜崎 義昭